

前回11月7日の例会記録

出席の状況

会員数 56名（内出席免除 3名） 出席者数 40名 欠席者数 16名
出席率 74.07% 前々回訂正 92.59%
欠席者 花房、原田、入江、加戸、笠原、川本、木本、小菅、熊野、西山、大賀、丹治、槌田、山田、（平野）、（渡辺）

S.A.A.

岡本(和)会員：今日は立冬、ズワイガニ漁も解禁でいよいよ冬が近づいてきました。体調管理をしっかりして、例会参加をよろしくお願いします。

金子会員：昨日、結婚記念日のお花が届きました。家内も喜んでいました。ありがとうございます。

河村会員：昨日は結婚記念日でした。皆様からの花のプレゼントありがとうございます。幸せな一日になりました。

西岡会員：・仲田会員様 先日の調査の件お世話になりました。

・楠会員様 図面ありがとうございました。

・家守会員様 土曜日に急な誘いに対応してくださりありがとうございます。

福元会員：先日の歓迎会、大変お世話になり有難うございました。

・大学駅伝…母校の活躍が励みになります。箱根駅伝では3連覇、3冠に期待してスマイルします。

樋口会員：本日、地鎮祭が朝あり無事完了いたしました。今日は、3物件の受注が出来ました。いい事続きますようスマイルいたします。

竹本会員：本日の役員会を欠席させていただきます。申し訳ございません。

大饗会員：体調を崩し、急きょ地区大会を欠席して申し訳ありません。

岡本(浩)会員：本日、仕事の都合で早退、理事会も欠席致します。スマイルでご勘弁ください。

9件 30,000円（累計 559,000円）

会長報告

会長 岡本和夫

今日は七五三の祝いについてお話してみたいと思います。

子供の成長を祝う行事の代表は七五三であります。三歳と七歳の女の子、五歳の男の子がきれいな晴着や羽織袴に身を包んで千歳飴を手に、11月15日に神社にお参りする光景はいつ見てもほほえましいものです。七五三という呼び方は比較的新しいのですが、その元となっているのは、三歳の男女の髪置き、五歳の男子の袴着、七歳の女子の帯解きと言われています。髪置きはそれまで剃っていた髪の毛を伸ばし始める儀式、袴着は袴を着せる儀式、帯解きはそれまでの紐のついた着物から帯で締める着物に替える儀式でありました。

今では言われなくなりましたが、子供の通過儀礼で重要なものに「七つ子祝い」があります。七歳が子供にとって一つの転機であることを表しているのが、各地に伝えられていた「七つ前は神様」という言葉です。七歳までは何をしても神様に不敬にならない、バチはあたらない、そのかわり、七歳までは魂も不安定でいつ病氣や事故で死ぬかもしれない、死んでも葬式や墓は不要であるとみなされていました。童謡「とやうらんせ」の「行きはよいよい、帰りはこわい」という奇妙な歌詞は、実は七つの祝いを境としてこれからはもう両親や祖父母の膝で甘えることは許されず、子供なりに自分で社会に一步踏み出さねばならないという意味を含んでいたのです。「男女七歳にして席を同じうせず」とも言われますが、小学校の入学年齢もこの「七つ子祝い」の伝統をよく継承しているといつてよいと思います。

いずれにしても、人生の節目節目の祝い、転機をじっくり考えることが少なくなりました。



幹事報告

幹事 末吉賢多

① ガバナー月信Vol.5、ロータリーの友11月号を配付しております。

② 財団室NEWS11月号、他クラブ週報を回覧いたします。

③ ガバナー事務所より、地区大会出席のお礼状が届いております。

④ 本日例会終了後13時30分より、3F「トパーズの間」において、「第5回理事役員会」を開催いたしますので、理事役員の皆様はご出席ください。

⑤ 11月13日(日)、さん太ホールにおいて、「第3回高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラム」を開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い致します。



誕生日ショートスピーチ

坪井雅弘 会員

11月は霜月といいまして、お酒が美味しい季節でもあります。また11月は英語ではNovember（呑めんばあ）ということで、69歳になり体を労りお酒を少し控えていきたいと思います。皆様も飲み過ぎは体にも良くないと思いますが、お祝いの際には美味しく喜んで飲んでいただければと思います。今日は本当にありがとうございました。





○ 基 調 講 演 ○



演 題 「開谷学校の歴史・文化に学ぶ」

公益財団法人 特別史跡旧開谷学校顕彰保存会

事務局長 國友 道一 氏

講演内容の要旨

歴史は、その時代を生きた生活者たちの物語です。彼らは試行錯誤しながら時代を切り拓いて行きました。その歴史・文化を学ぶことによって、自分がこれからどう生きて行けばよいのか、その手がかりを得ることができます。

また、身近な岡山（地域）の歴史・文化を学ぶことは、併せて、地域に愛着や誇りをもつことにつながり、地域の伝統文化を継承してすばらしい地域づくりをすすめる原動力にもなります。

開谷学校は、日本最古の庶民のための公立学校であると言われています。この学校を創建した池田光政公は、多感な時期に姫路藩、鳥取藩、岡山藩と三度の転封を経験しており、藩主としての使命と責任を強く感じざるを得なかったようです。さらに、岡山藩主になってからは、近江聖人と呼ばれていた中江藤樹や熊沢蕃山との出会いがあり、学問による道徳的な人間形成こそがよい社会を実現することにつながるという思いに至りました。開谷学校は、このような理念に基づいて創建されました。光政公は、身分に関係なく誰でも学べる学校を創建するという夢を実現したものの、岡山藩の財政は非常に厳しく、学校を維持運営するには多くの苦労が伴いました。明治時代になって開谷学校は再興されましたが、私立の学校であったため存続のための苦労は続きます。しかし、開谷学校は様々な困難を乗り越えて現在まで歴史を刻み続けています。それは、池田光政公のすべての人に教育をという創学の精神が、多くの人に訴えかけ、人を動かしたからだだと思います。今日はその歴史をたどってみたいと思います。

今年の5月、倉敷市でG7教育大臣会合が開催されました。それに先だって公開シンポジウムがあり、そのテーマが「教育の力」でした。現在世界には向き合うべき多くの地球規模の課題があります。教育の力で人を、世界を、未来を変えようと様々な意見が出されました。池田光政公が、今から300年以上前に開谷学校を創建したのも、まさに「教育の力」を信じたからではないでしょうか。

講師紹介 ○経歴 昭和24年岡山県生まれ

岡山大学卒業後、岡山県内の公立高等学校の英語教師を務める
 昭和61年 4月 岡山県教育センター指導主事
 平成 4年 4月 岡山県立岡山高等学校教頭
 平成12年 4月 岡山県立津山高等学校教頭
 平成14年 4月 岡山県立備前東高等学校校長
 平成15年 4月 岡山県立和気開谷高等学校校長
 平成18年 4月 岡山県立岡山操山高等学校校長
 平成21年 4月 岡山県高等学校長協会会長
 平成21年11月 教育者文部科学大臣表彰受賞
 平成22年 3月 公立高等学校退職
 平成22年4月から 公益財団法人特別史跡旧開谷学校顕彰保存会事務局長
 岡山県青少年教育センター開谷学校長所長（～平成28年3月）
 第6期（平成23年～25年）中央教育審議会スポーツ・青少年部会委員



クラブ情報

第5回理事・役員会議事録

日時 2016年11月7日(月)13:35～13:55 場所 ホテルグランヴィア岡山 3階「トパーズの間」

1.開 会 会長 岡本 和夫、司会・幹事 末吉 賢多

2.出席者の確認 副 幹 事 児島 正典

岡本和夫 末吉賢多 児島正典 氏房信明 仲田錠二 菊井慎也 相原利行 樋口芳紀

小松原隆代 鴨井利典 平松 信 堀川辰也 大饗よし江

3.会長挨拶 会 長 岡本 和夫

4.協議事項

① 11月～1月のプログラムについて

プログラム委員長より、1月に外部卓話を2回予定しているが1回を内部卓話にしたいとの提案があり、承認された。

② 月見夜間例会の決算について 原案通り、承認された。

③ クリスマス家族例会について 原案通り、承認された。

④ しのぶ会について（南葉様・梶谷様） 原案通り、承認された。

⑤ IMについて

IM実行副委員長より、10月24日に開催されたIM実行委員会についての報告があった。

⑥ 高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラムについて

青少年奉仕委員長より、予算配分の変更をしたいとの提案があり、承認された。

⑦ 第2回IDMについて 原案通り、承認された。

⑧ その他 特になし。

5.報告事項 特になし。

6.閉 会

S. A. A. 氏房 信明

第5回IM実行委員会議事録

日時 2016年10月24日(月)13:30～ 場所 ホテルグランヴィア岡山 3階「サファイア」

1.開 会 会長 岡本 和夫、司会・幹事 末吉 賢多

2.出席者の確認 幹 事 末吉 賢多

岩本一寿 岡本和夫 末吉賢多 藤岡 温 相原利行 堀川辰也 竹本千代子 川西熊雄

高橋峯男 入江直人 岡本浩三 小松忠男 鴨井利典 児島正典

3.ガバナー補佐挨拶 岩本 一寿

4.会長挨拶 岡本 和夫

5.協議事項

(1) 第2回IM合同実行委員会の報告

・議事録に沿って、9月10日に津山にて開催されたIM合同実行委員会の報告を行った。

(2) 記念講演のテーマについて

・次回の委員会において各委員でテーマ案を持ち寄り、委員会としてのテーマ案を確定する。

(3) バズセッションのテーマについて

・テーマを、「地域社会に貢献する奉仕活動とは」に決定した。

・「社会奉仕(青少年奉仕を含め)」「職業奉仕」「クラブ奉仕」の3つのグループに分け、各グループのサブテーマを、討議し易い具体的なものを2つずつ設定する。

・「社会奉仕(青少年奉仕を含め)」分野を行事運営委員会(本会議)が、「職業奉仕」分野を実行委員長及び副実行委員長が、「クラブ奉仕」分野を行事運営委員会(懇親会)が、それぞれサブテーマ案を検討する。

(4) アトラクションについて

・次回の合同実行委員会において、進行をお願いする津山RCと詳細な打ち合わせを行う。

(5) タイムスケジュールの作成について

・記念講演の講師紹介は、第9グループ実行委員長が担当する。

・バズセッションの説明は、第9グループ行事運営委員長(本会議)が担当する。

・閉会式のお知らせは、第8グループホストクラブSAAが担当する。

・懇親会は、17:35開始とし、アトラクションは、懇親会の「乾杯」「歓談」後の30分程度で行う。

(6) プログラム冊子の作成について

・バズセッションでは、記録のために、各テーブルに記録用紙を配布し、回収する。

・記念講演の講師に、原稿の有無を確認する。

(7) その他

・全員登録のお願いのための各クラブ例会訪問を、以下のとおり実施する。

岡本会長、末吉幹事:11/9岡山RC、11/17岡山東RC

藤岡実行委員長、相原副実行委員長:11/18備前RC、11/24後楽園RC、11/29赤磐RC

・次回の実行委員会を、12/12に開催する。

6.報告事項 なし

7.閉会挨拶

実行委員長 藤岡 温

例会情報

本日のメニュー (11月14日(ヘルシー和食))

井 鱈の叩きと帆立の御飯井 (小蕪 みじん生姜) 茗荷刻み 大葉 煎り胡麻 山葵 もみ海苔
酢橘 (県産昔醤油)

小鉢 菊菜と木ノ子の白和え (占地 榎木 舞茸 人参 くこの実)

温物 蟹入り茶碗蒸し銀鮎掛け (銀杏 百合根 椎茸 三つ葉 絞り生姜) 赤出汁 三種 香物 三種

次回のメニュー (11月21日)

蕪のスープ 栗とキノコを添えた豚のロースト もみじ卵のニース風サラダ

デザート コーヒー パンとバター